

施策・事業	R3年度	R4年度	R5～R7年度	令和3年度の実施状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関					
						ノッタ ライン	乗合 タクシー	路線バス	ハイヤー・ タクシー	自家用 有償運送	その他
基本方針1	(1) 円山地域乗合 タクシーの運行	実証運行の実施 料金・ルートの変更	本格運行の開始 毎年度利用者数や料金収入等の推移を検証	令和4年度の本格運行に向けて、検討を進めたが、比較的用户の多かった停留所の廃止等による影響も鑑み、より持続可能な公共交通の実現に向けて、ダイヤを変更したうえで、令和4年度においても実証運行を継続する。	C		○				
	(2) 町内路線網の 検証・再編の実施	前回計画から継続して実施 毎年、町内路線全体の路線網の検証・再編を行う		町内路線全体の路線網の検証・再編を継続して実施している。	B	○	○				
	(3) クロスセクター 効果の検証	いわない循環バス 「ノッタライン」について検証	円山地域乗合タクシー、路線バス、 ハイヤー・タクシー等について検証	令和3年度については、ノッタラインについて検証することができなかったことから、令和4年度以降に実施するよう、引き続き検討をおこなう。	D	○	○	○	○	○	○
	(4) アンケートBOX の設置	前回計画から継続して実施 月に1回程度用紙の回収を行う		月に1回程度用紙の回収を行い、アンケートの取りまとめを行った。	B						
	(5) 地域公共交通 維持・改善に 向けた新たな 調査票の検討	岩内町地域公共交通活性化協議会にて 新たな調査票について検討・作成	各停留所等に設置 随時、調査項目を検証	新たな調査票の検討・作成について、引き続き検討を行う。	C						
基本方針2	(1) 「バス・タク乗って ガイド(仮称)」 の作成	コンテンツの整理 ガイドの作成・広報周知	町HPにて周知、バスターミナル等に設置 ダイヤの変更等あれば、随時修正を行う	ガイドの作成に係る予算を令和4年度予算において計上しており、令和4年度中に作成する予定となっている。	C	○	○	○	○	○	○
	(2) 「バス・タクチャ レンジライド!! (仮称)」等の実施	各関係機関との連絡調 整	年1回程度実施、毎年度継続して行う	関係機関であるニセコバス(株)から、他町村の事例について情報提供をいただいた。引き続き、実施に向けた検討を行う。	C	○	○	○			
	(3) 有料広告の設置	情報収集(有料広告実施済みの町村等) 有料広告実施事業者の選定、依頼作業	いわない循環バス 「ノッタライン」 車内に設置	有料広告設置に向けた情報収集を引き続き実施する。	C	○					
	(4) キャッシュレス 決済の導入	各関係事業者と 検討・予算協議	町内全公共交通事業者にて設置開始	令和3年度については、予算協議等実施できなかったことから、令和4年度以降に実施するよう、引き続き検討を行う。	C	○	○	○	○		
	(5) 運転免許返納者 に対する取組の検討	各種取り組みの実施 結果は毎年度検証を行う		令和3年8月から事業開始し、交付実績は令和3年12月末時点で30件となっている。	B	○	○	○	○	○	○
	(6) ノーカーデー の推進	北海道の実施期間とあわせて実施。 広報誌や町HP等を活用して、町民に対して広く周知する		岩内町役場職員に対する周知は実施したことから、令和4年度以降は、広報誌での周知を実施するよう取組を進める。	C	○	○	○	○	○	○

施策・事業	R3年度	R4年度	R5～R7年度	令和3年度の取組状況	事業の進捗状況 (A～Eの5段階)	関連する公共交通機関					
						ノッタ ライン	乗合 タクシー	路線バス	ハイヤー・ タクシー	自家用 有償運送	その他
基本方針3	(1) 商店街連合会との連携	前回計画から継続して実施 円山地域乗合タクシーが本格運行のタイミングで回数券を販売		ノッタライン回数券販売時におけるたら丸ポイントカードとの連携は継続して行っているが、円山地域乗合タクシーについては、本格稼働後に連携する見込みである。	C	○	○	○	○		
	(2) 観光面におけるハイヤー・タクシーとの連携	コンテンツの整理 ガイドの作成	ガイドを観光施設に設置	ガイドの作成に係る予算を令和4年度予算において計上しており、令和4年度中に作成する予定となっている。	C		○		○		
	(3) 既存施設との連携	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノッタライン」等 町内公共交通の停留所を選定する際、各施設と連携		各施設との連携を継続して行った。	B	○	○				
	(4) 地域公共交通活性化基金の設置	基金条例の設置 随時基金の受け入れ		令和3年3月に条例を設置済み。 令和3年度においては基金積み立て実績は0件となった。	C	○	○	○	○	○	○
基本方針4	(1) 路線維持のための運行補助の実施	前回計画から継続して実施 運行補助を含め、新たな交通体系（ダウンサイジング等）についても検討		路線維持のための運行補助を継続して行った。	B			○			
	(2) 公共交通による市町村情報の発信	前回計画から継続して実施 いわない循環バス「ノッタライン」車内にて継続的に情報発信を行う		特定健診の呼びかけなど、継続して情報発信を行った。	B	○					

【評価基準】
 A・・・順調に推移している
 B・・・ほぼ順調に推移している
 C・・・やや遅延している
 D・・・遅延している
 E・・・達成困難